

■ 恩智川（法善寺）多目的遊水池上面整備基本設計【概要版】

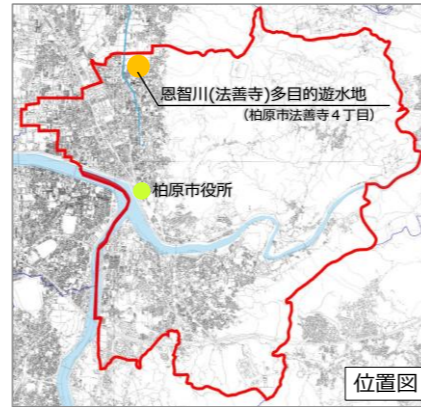
（仮称）スポーツパークかしわら

令和6年 8月

柏原市 

## 1. 業務の目的

恩智川は生駒山地に沿って流れる寝屋川水系の一級河川で、大雨時は生駒山地に降った雨が流れ込みやすく増水がしやすい状況にあります。柏原市法善寺4丁目地内（右図参照）における恩智川（法善寺）多目的遊水地は、寝屋川流域を洪水から守るため、寝屋川流域総合治水対策の一環として大阪府が整備を進めており、当該地の東側は柏原市立壁下北スポーツ広場として平成31年4月1日に供用開始し、多くの市民に利用されています。



当該施設の西側（約4.7ha）の上面利活用にあたっては、第5次柏原市総合計画に基づき、本市の将来を展望したまちの将来像「選ばれるまち 柏原～豊かな自然 伝統ある産業 歴史・文化、教育 みんな笑顔で住みよい 柏笑～」の実現に向けて取り組み、まちづくり分野ごとのビジョン「生涯に渡る学びの機会があり、やさしさと思いやりを育むまち」として生涯にわたる学びとスポーツ活動の継続的な機会を提供するため、「恩智川（法善寺）多目的遊水地上面整備基本計画」を定めました。

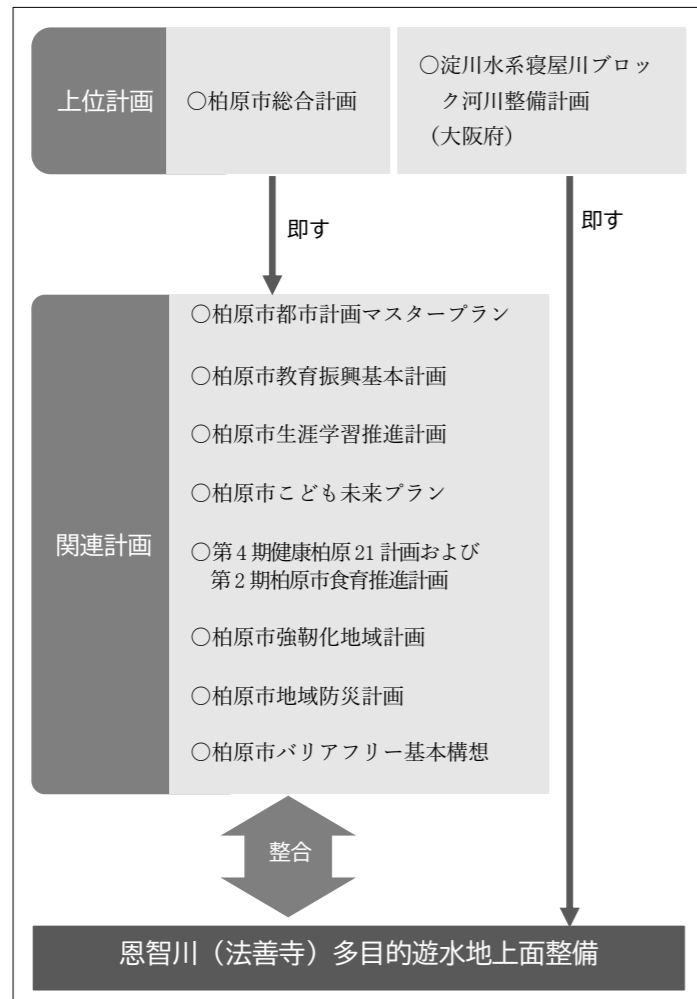
この計画は単なるスポーツ施設の整備にとどまらず、公園的な要素も取り入れて、心と身体の健康や多世代の市民にとって身近に利用される場所になること、また、多目的な利用により賑わいの場が実現することを目的としており、基本計画（整備プラン）に基づき多目的遊水地上面整備の基本設計を行います。

## 2. 基本設計

### 2-1 与条件の細部検討

#### ■上位計画の把握と整理

柏原市上位関連計画における位置づけ



基本計画 基本方針

**基本方針 1**  
多様な運動が楽しめる空間づくり

運動施設や遊具を中心に整備する空間、使い方を特定するような整備を行わない多目的な空間など、多様な使い方ができるようなゾーン分けを行います。

**基本方針 2**  
誰もが自由に利用できる空間づくり

多目的空間は使い次第で何にでも使える使いやすい空間になります。そのフレキシブルさを活かし、ソフトな取組を充実させます。

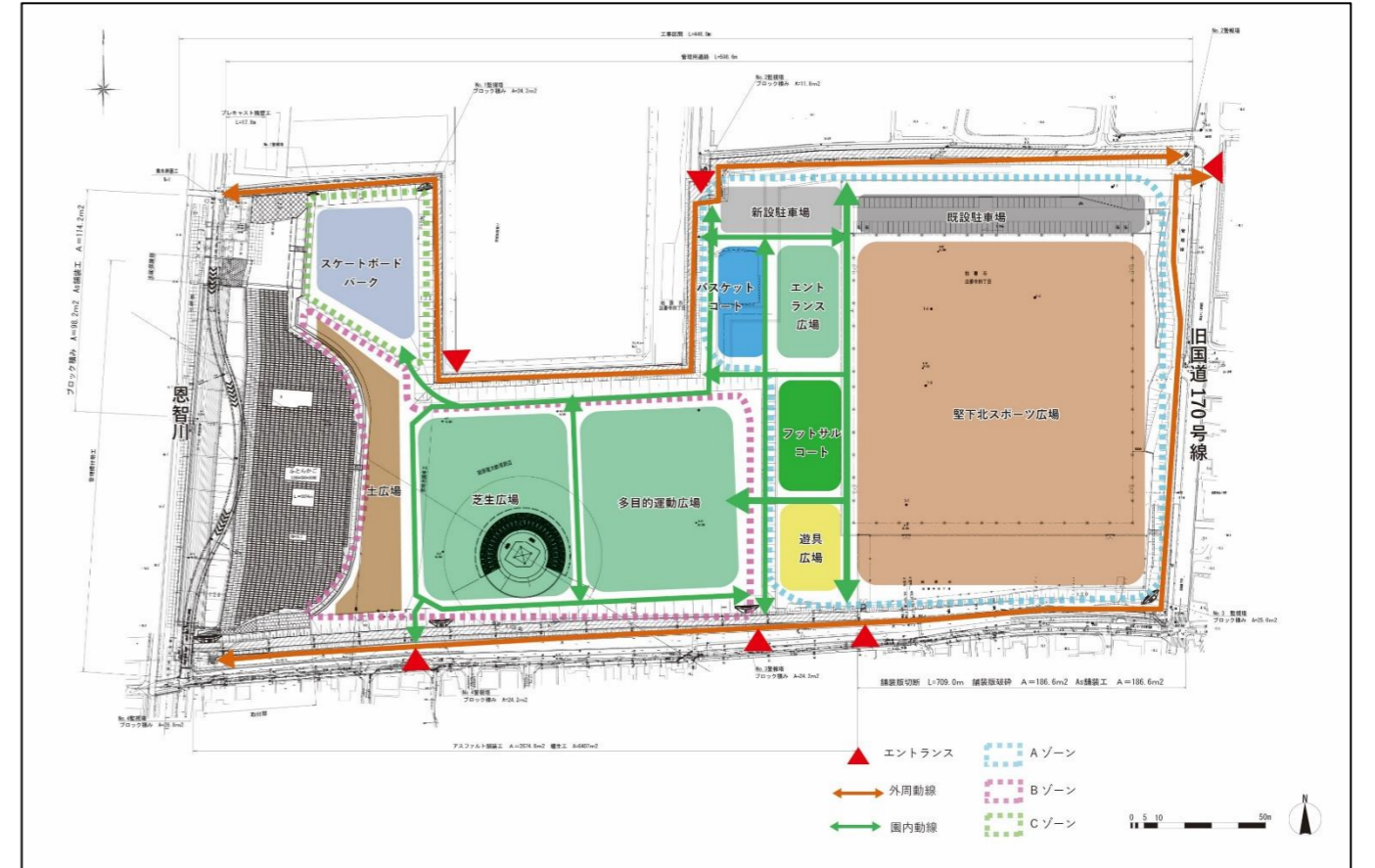
**基本方針 3**  
ニーズに合わせた空間づくり

社会環境や時代潮流の変化による、スポーツ参加やイベント内容の多様化、健康意識の高まり、地域防災への強化に向けた広場空間とします。

### 2-2. 諸施設の検討及び設定

#### ■ゾーニング及び導入機能

・基本計画のゾーニングに基づき、各ゾーンの導入機能の設定を行う。



#### ■導入機能

##### Aゾーン

- ・洪水時でも比較的浸水しにくいエリアであることから、スポーツ施設を中心に、遊具、トイレ等を導入する。
- ・インクルーシブ遊具広場ではできるだけ多くの子ども達が遊べる遊具広場として整備する。
- ・トイレ棟はインクルーシブ遊具広場の間に配置し、双方からの速やかなアプローチのしやすい位置に配置する。

##### Bゾーン

- ・洪水時に浸水する頻度が最も高く、遊水地としての機能を発揮する必要性があり、一方、平常時は自由な利用ができる空間とするため、大型施設の設置は行わない。

##### Cゾーン

- ・洪水時に浸水する可能性が高く、遊水地としての機能を発揮する必要性があり、一方、平常時はAゾーンとは異なる種類のアーバンスポーツなど、若い世代が利用しやすい空間を確保する。
- ・スケートボードパークを整備し、休息ができるテントシェルターを整備する。

##### 外周

- ・ウォーキングやランニングコースにも利用できるように、各広場をつなぐ外周園路を整備する。



## 2-3 基本設計

### ■造成設計

- ・Aゾーン（エントランス広場・バスケットコート・フットサルコート・トイレ棟・インクルーシブ遊具広場）：FH=14.3
- ・Bゾーン（芝生広場）：FH=11.3（Aゾーンとの高低差-3.0m）
- ・Cゾーン（スポーツ広場）：FH=12.3（Bゾーンとの高低差+1.0m）
- ・各ゾーン間を階段またはスロープで接続し、高低差の解消を図る。
- ・各ゾーン内で適切な地表面排水勾配を確保し、雨水を常時池へ排水する。
- ・スロープ設置には一次造成からの盛土が必要であり貯水量の余裕量は 500 m<sup>3</sup>以内となっている。
- ・検証の結果、貯水余裕量 500 m<sup>3</sup>以下の条件を満たすスロープ勾配 8.0%案を採用した。

### ■植栽基本設計

- ・芝生の広がり、常時池への眺望を生かした植栽配置計画を行う。
- ・南北の敷地境界沿いに高木を列植し、緑のスクリーン効果で園内に落ち着いた雰囲気をつくる。
- ・ベンチなどを設置した滞留空間や遊具広場には、木陰をつくる高木を植栽する。
- ・気候、風土になじみ、比較的強健で季節感のある樹種を採用する。
- ・花見が可能なように桜を列植する。
- ・景観的な演出として、遊具広場には樹形に特色のある高木を、点景的・散在的に配植する。
- ・季節感や子どもの遊びにも活用できるドングリ等の実生木を選定する。

#### <落葉樹>



ジンダイアケボノ



ラクウショウ



クヌギ



コナラ



カンフ



ケヤキ

#### <常緑樹>



シラカシ



クロガネモチ

### ■雨水排水設備基本設計

#### 既存グラウンドの排水検証

- ・既存グラウンドに接する U 型側溝の排水勾配は約 0.1%~0.3%程度と緩やかで、側溝の計画流量が雨水流出量を下回っていることから、見直しが求められた。

#### 排水系統

- ・公園全体の排水系統については、上盤 A ゾーン (FH=14.3) 流域の排水を北と南の 2 系統とし、下盤 B ゾーン (FH=11.3) は表面排水で直接放流とした。
- ・表面排水にて東から西への 0.1% の一律勾配とする。
- ・排水路は開渠で深さ 0.3m とし、断面幅を広げることで計画流量を確保する。
- ・計画流量を確保可能な開渠幅は 1.6m となった。
- ・よって護岸は自然石護岸とし、せせらぎ風に化粧することで公園的景観になじむものとした。



自然石護岸イメージ

### ■園路広場整備基本設計

- ・ゾーンごとの特色や場所の特性に応じて適切な舗装材を選定する。



エントランス・園路：  
インターロッキング舗装イメージ



スケートボードパーク：  
コンクリート舗装イメージ



円形の芝生広場  
(滋賀県：近江神宮外苑公園)

芝生広場：芝生舗装イメージ



園路：  
カラーアスファルト舗装イメージ



アストロペーブRHの特長

インクルーシブ遊具広場：  
ゴムチップ舗装イメージ

### ■遊戯施設整備基本設計

- ・インクルーシブ遊具広場に、児童用・幼児用複合遊具（インクルーシブタイプ）を設ける。
- ・AゾーンとBゾーンの境界にある法面の一部を人研ぎ滑り台とする。



人研ぎ滑り台イメージ



幼児用複合遊具イメージ



児童用複合遊具イメージ

### ■駐車・駐輪基本設計

- ・駐車台数は堅下北スポーツ広場を含め合計約 140 台を整備し、駐輪場は約 80 台を整備する。



■建築施設基本設計

- ・トイレ棟は、男子棟+女子棟+多目的棟+倉庫棟の4連とする。また、休息スペースとしてシェルター・テントシェルターを配置する。



トイレ棟イメージ



シェルターイメージ



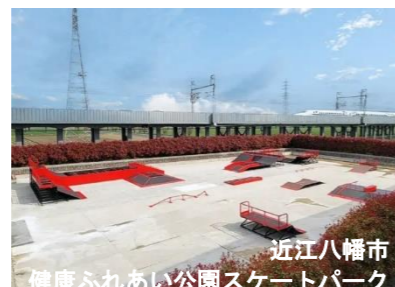
テントシェルターイメージ

■グラウンド・コート整備基本設計

- ・Aゾーンにバスケットコート、フットサルコートを整備する。
- ・Cゾーンにスケートボードパークを整備する。
- ・中～上級者エリア、初級者エリア+フラットエリアの2つのエリアに分ける。



フットサルコート整備イメージ



スケートボードパーク整備イメージ



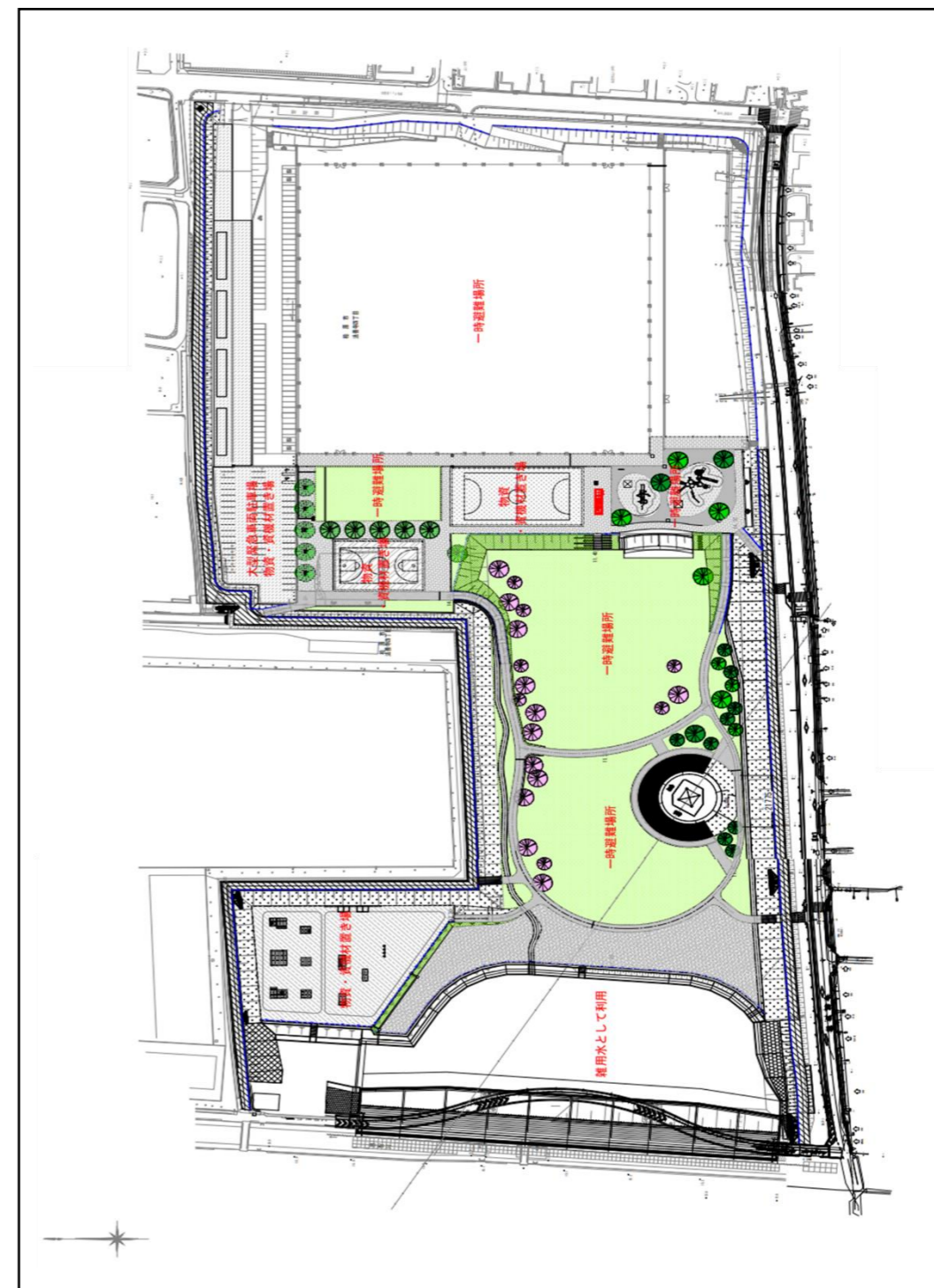
■ 工程計画

令和7年11月より工事を開始し、令和9年度中の供用開始を計画している。

2-4 災害時の機能変換検討および位置づけ

■ 災害発生時に機能する施設の検討（案）

- ・災害発生後からの3日間において、救援活動の拠点や一次的避難生活の場としての機能を果たすこととする。
- ・各施設の機能を次頁に示す。
  - ・堅下北スポーツ広場：一時避難場所
  - ・駐車場：物資・資機材置き場
  - ・エントランス広場・バスケットコート・フットサルコート・インクルーシブ遊具広場・芝生広場・スケートボードパーク：一時避難場所、物資・資機材置き場





計画平面図（イメージ図）

恩智川（法善寺）多目的遊水地上面整備基本設計業務 計画平面図



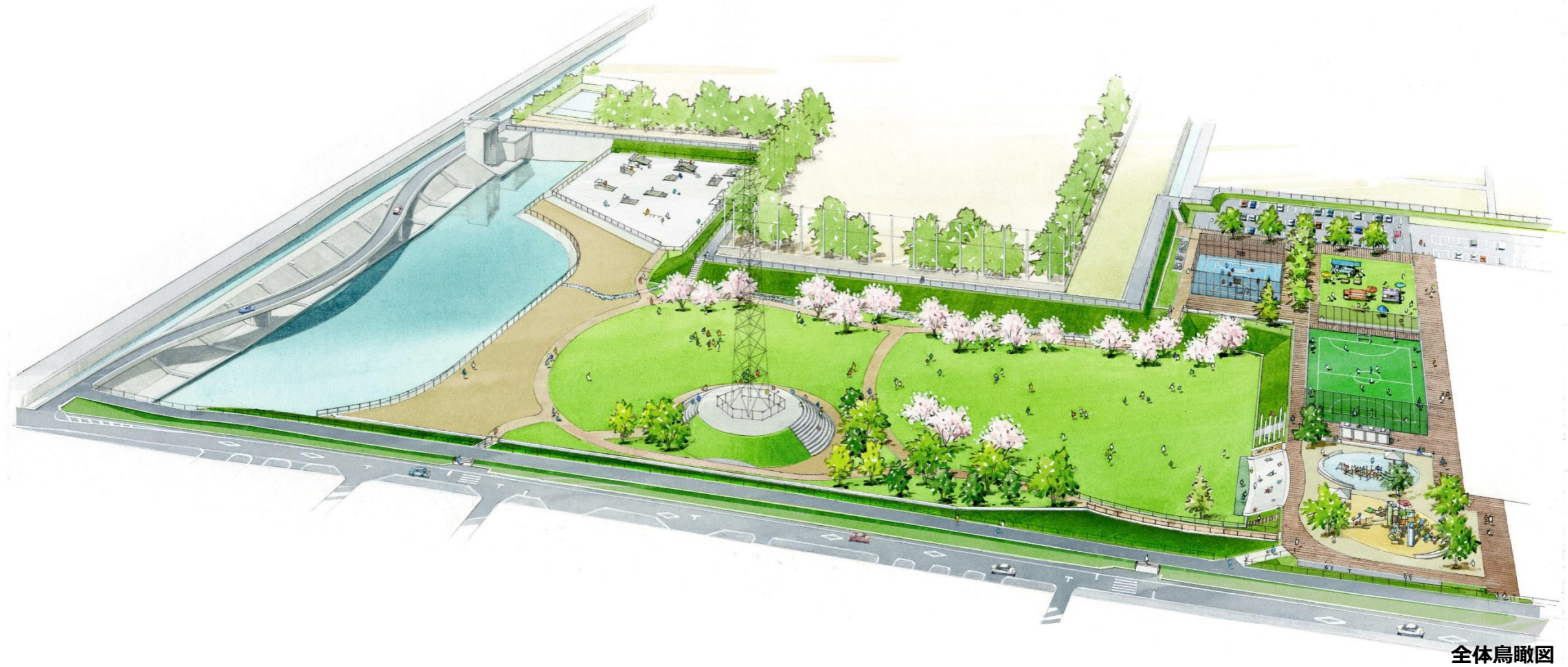
0 5 10 20 30 40 50 100m

SCALE 1/1,500 (A3)





鳥瞰図（イメージ図）



全体鳥瞰図



インクルーシブ遊具広場



エントランス広場